

## 委託訓練カリキュラム

訓練科名	介護福祉士養成コース(2年)		就職先の 職務・仕事		
訓練期間	令和6年4月1日から 令和8年3月31日(24か月)				
訓練目標	厚生労働大臣指定の介護福祉士養成課程のカリキュラムを中心に、座学での知識習得と実践に即した技術を習得し、介護・福祉に関する専門的知識と技能を習得する。				
仕上がり像	介護福祉士資格を有する専門的な人材として、福祉施設の介護職や専門性を活かした職種への就職をめざす。				
訓練概要					
領域	DL	形態	科目	科目の内容	時間
			※介護福祉士課程の必修科目、選択必修科目、教養科目等を記載すること。		
			※A4版片面1枚に収めること。 ※安全衛生について科目に関連した内容で3時間設定すること。 ※受講生の就職後を見据え、働くことの基本ルールに関する講義を3時間設定すること。		
			・訓練分野の特性に対応した基礎的なデジタルリテラシーの要素を含むカリキュラムを1科目以上設定すること。基礎的なデジタルリテラシーの内容については、「仕様書(別紙) デジタルリテラシーの標準的内容」を参考にし、該当科目の「DL」欄に「○」を記載すること		
その他の講座		講義	安全衛生(必須)		3
		講義	働くことの基本ルール(必須)		3
就職支援					
				訓練時間総合計	6 時間
学科	時間	実技	時間	就職支援	時間

## 委託訓練カリキュラム

訓練科名	保育士養成コース(2年)		就職先の 職務・仕事		
訓練期間	令和6年4月1日から 令和8年3月31日(24か月)				
訓練目標	指定保育士養成施設において、保育士養成課程を中心に、講義、演習、実技及び実習により、保育に関する専門的知識と技術を習得する。				
仕上がり像	保育士資格(国家資格)を有する専門的な人材として、保育所や児童福祉施設等において正職員として就職して活躍できる人材。				
訓練概要					
領域	DL	形態	科目	科目の内容	時間
			※保育士養成課程の必修科目、選択必修科目、教養科目等を記載すること。		
			※A4版片面1枚に収めること。 ※安全衛生について科目に関連した内容で3時間設定すること。 ※受講生の就職後を見据え、働くことの基本ルールに関する講義を3時間設定すること。		
			・訓練分野の特性に対応した基礎的なデジタルリテラシーの要素を含むカリキュラムを1科目以上設定すること。基礎的なデジタルリテラシーの内容については、「仕様書(別紙)デジタルリテラシーの標準的内容」を参考にし、該当科目の「DL」欄に「○」を記載すること		
その他の講座		講義	安全衛生(必須)		3
		講義	働くことの基本ルール(必須)		3
就職支援					
				訓練時間総合計	6時間
学科		時間	実技	時間	就職支援 時間

## 委託訓練カリキュラム

訓練科名	言語聴覚士養成コース(2年)		就職先の 職務・仕事		
訓練期間	令和6年4月1日から 令和8年3月31日(24か月)				
受講生の条件	4年制大学卒業以上				
訓練目標	厚生労働大臣指定の言語聴覚士養成課程のカリキュラムを中心に、座学での知識と実践に即した言語療法にかかる技術や知識を習得する。				
仕上がり像	言語聴覚士資格(国家資格)を有する専門的な人材として、医療・福祉・保健の現場において、正職員として就職して活躍できる人材。				
訓練概要					
領域	DL	形態	科目	科目の内容	時間
			※言語聴覚士課程の必修科目、選択必修科目、教養科目等を記載すること。		
			※A4版片面1枚に収めること。 ※安全衛生について科目に関連した内容で3時間設定すること。 ※受講生の就職後を見据え、働くことの基本ルールに関する講義を3時間設定すること。		
			・訓練分野の特性に対応した基礎的なデジタルリテラシーの要素を含むカリキュラムを1科目以上設定すること。基礎的なデジタルリテラシーの内容については、「仕様書(別紙)デジタルリテラシーの標準的内容」を参考にし、該当科目の「DL」欄に「○」を記載すること		
その他の講座		講義	安全衛生(必須)		3
		講義	働くことの基本ルール(必須)		3
就職支援					
				訓練時間総合計	6時間
学科	時間	実技	時間	就職支援	時間

## 委託訓練カリキュラム

訓練科名	精神保健福祉士養成コース(1年)		就職先の 職務・仕事		
訓練期間	令和6年4月1日から 令和7年3月31日(12か月)				
受講生の条件	4年制大学卒業以上				
訓練目標	厚生労働大臣指定の精神保健福祉士養成課程のカリキュラムを中心に、精神障がい者の保健・福祉に関する専門的知識と技能を習得する。				
仕上がり像	精神保健福祉士資格(国家資格)を有する専門的な人材として、医療機関・行政機関・福祉施設等の現場において、正社員として就職して活躍できる人材。				
訓練概要					
領域	DL	形態	科目	科目の内容	時間
			※精神保健福祉士課程の必修科目、選択必修科目、教養科目等を記載すること。		
			※A4版片面1枚に収めること。 ※安全衛生について科目に関連した内容で3時間設定すること。 ※受講生の就職後を見据え、働くことの基本ルールに関する講義を3時間設定すること。		
			・訓練分野の特性に対応した基礎的なデジタルリテラシーの要素を含むカリキュラムを1科目以上設定すること。基礎的なデジタルリテラシーの内容については、「仕様書(別紙)デジタルリテラシーの標準的内容」を参考にし、該当科目の「DL」欄に「○」を記載すること		
その他の講座		講義	安全衛生(必須)		3
		講義	働くことの基本ルール(必須)		3
就職支援					
				訓練時間総合計	6時間
学科	時間	実技	時間	就職支援	時間

